

令和3年度一般財団法人太田市行政管理公社事業報告

太田市行政管理公社は平成13年4月、当時の太田市の外郭団体（国際交流協会、文化振興事業団、スポーツ振興事業団、勤労者福祉サービスセンター、シルバー人材センター、農業振興公社、広域健診センター、社会福祉協議会、土地開発公社）職員の一元管理を行うために任意団体として発足し、合併後の太田市においても同様の組織として運営を続けました。そして、組織の強化を図るために平成21年4月1日からは一般財団法人太田市行政管理公社となり、市民福祉の向上や快適な居住環境の整備等に寄与することを目的に、公共施設の管理及び運営を受託するなどの諸事業を実施しています。令和3年度における事業概要（実績）は以下のとおりです。

（1）公社及び外郭団体に関する業務（事業管理課）

令和3年度の公社本体は事業管理課と花と緑の課の2課で構成され、事業管理課職員は11人（育休者を含む）、花と緑の課職員は15人で、2課を合わせた本体職員は26人となっています。

在籍出向先は8団体（社会福祉協議会、国際交流協会、土地開発公社、シルバー人材センター、勤労者福祉サービスセンター、健診センター、文化スポーツ振興財団、ものづくり研究機構）で、在籍出向職員は221人となっています。

行政管理公社職員の人事を一元管理し、各団体の事務事業に柔軟に対応しながら、効率的で機動性ある業務運営を図りました。

また、受託事業としては、平成27年度から8児童館及び3放課後児童クラブの管理運営を行っており、職員は27人となっています。平成28年度からは市内地域活動支援センターの業務運営も受託しており、職員は14人となっています。

さらに、自主事業としての結婚支援事業については、コロナ禍のため大規模なパーティー等は実施できませんでしたが、少人数のお見合いパーティーや個別お見合いの開催等、出会いの場の提供や結婚相談等を実施し、結婚を真剣に考える市民が安心して活動できる事業として、相談者に寄り添ったきめ細かい結婚支援に努めました。

(2) 公園管理業務(花と緑の課)

市内の公園・緑地412箇所、街路樹148路線について、安全で快適な公園等の維持管理に努めました。こうした中、市民要望1,415件、自主パトロール922件を緊急性、安全性を考慮し、対応処理いたしました。

なお、要望内容と自主パトロールの対応内容と件数は次のとおりです。

・公園等のゴミ、剪定枝等の回収依頼	1,264件
・樹木の剪定、枯木、倒木の撤去、傾木補強要望	296件
・水道、トイレの修理、部品交換、トイレの詰まり除去依頼	77件
・公園灯、遊具、ベンチ等備品等交換、修理及び塗装	130件
・公園、緑地等の除草剤散布及びグラウンド部分の草刈、芝刈要望	372件
・公園内砂場の砂入替え及びグラウンド整地(土の搬入等)要望	26件
・公園内遊具等の撤去依頼	25件
・案内看板、ベンチ等の設置、交換要望	32件
・スズメバチの巣撤去依頼	17件
・公園、街路樹に発生する樹木の病気対策要望	43件
・その他(動物のフン、カラスの巣等の除去)	55件
※2,337件の内145件が業者委託	合計 2,337件

これらの公園・緑地等は、良好な風致や景観をそなえた快適環境をつくり、自然とのふれあいを通じて心身ともに豊かな人間形成に寄与する極めて重要な役割を果たします。さらに、スポーツ・レクリエーションの場・避難地・避難路・公害・災害の防止緩和など都市防災空間として、安全で快適な都市生活を営むうえで必要不可欠な施設の維持管理に努めました。

また、八王子山公園墓地及び納骨堂は、来園者に安心と快適に利用しやすい施設の維持管理に努めました。

(3) 児童館及び放課後児童クラブ管理運営業務(事業管理課)

市内8児童館及び3放課後児童クラブの管理運営について、コロナ禍により休館や行事の中止が生じる中、更なる安全な環境づくりに努めつつ児童の健全育成や放課後児童の居場所の提供を行いました。

平成26年度まで社会福祉協議会が指定管理者として指定されていたものですが、平成27年度からは、太田市と行政管理公社との業務委託契約に基づき、実施することとなり、令和3年度の事業において、太田市からの児童館事業収入は83,631,356円、放課後児童クラブ事業収入は37,206,064円で、それぞれ人件費及び施設管理費等に支出しました。

(4) 地域活動支援センター運営業務(事業管理課)

市内1ヶ所の地域活動支援センターに通う利用者へ、自立した日常生活や社会生活を営むために必要な支援を行いました。

平成27年度まで社会福祉協議会が指定管理者として指定されていたものですが、平成28年度からは太田市と行政管理公社との業務委託契約に基づき、実施することとなり、令和3年度の事業において、太田市からの地域活動支援センター事業収入は81,648,214円で、主に人件費として支出しました。

(5) 精米事業(事業管理課)

地産地消の一環として、市内で生産した米を市精米センターで精米し、市内の公立幼稚園、小中学校の計41校に新鮮安全な米飯給食を提供してきました。令和3年度において、19,446人の児童・生徒に2,404,006食を提供し、事業収入は155,244,239円で、主に玄米の仕入及び米飯の炊飯・配送業務委託費等に支出しました。

【精米スケジュール】

<精米日> 週3日(火・木・金)

<搬入出日> 水曜日

<玄米搬入> 3t/回 × 2回 = 6t

<精米搬出> 炊飯委託業者に搬出